

国分寺市でのペンシルロケット水平発射実験成功から60年の時を越えてつなぐ想い

私とペンシルロケット



昨年、この国分寺の地で、日本初のペンシルロケット水平発射実験が成功してから60年目の節目を迎えました。これを記念して、1年間さまざまなイベントを行ってきました。その締めくくりとして、3月27日に開催した特別講演会ペンシルロケット発射60周年グランドフィナーレの講師である山崎直子さんに、ペンシルロケットに対する想いを伺いました。

国分寺市で育ってきたことに ぜひ誇りを持ってほしい

第6回 山崎 直子さん(宇宙飛行士)

山崎さんはエンジニアとして宇宙飛行士を目指したと伺ったのですが、ペンシルロケットに対する想いを教えてください

私はエンジニアになって宇宙開発にかかわりたいということで、いろいろ学んできました。その中で好きだったことは設計図面を引くことでした。飛行機の翼の断面図であったり、ロケットであったり、人工衛星であったり、当時は手書きで定規とマジックを使って引いていました。そして、日本のロケットの開発なども学び、最初はペンシルロケットから始まったということに、すごく感動しました。というのは、アメリカでもロシアでも旧ソ連でも、やはり最初のロケットの実験というのは軍事と切り離すことができないものでした。しかし、日本では、第二次世界大戦が終わって、その10年後、20年足らずのときに、平和利用の目的として純粋に宇宙を目指すということでロケットの開発をしてきて、ほかの国にはなかなかない日本ならではの開発で、それはものすごいことだと思いました。

国分寺市の子どもたちに向けてメッセージをお願いします

子どもたちには、日本の宇宙開発発祥の地、そのひとつの場所である国分寺市で育ってきたことに、ぜひ誇りを持ってほしいです。宇宙もそうですが、それを切り口にして、もっと大きな自然やほかの科学、いろいろなことに興味を持ってもらいたいです。これからどんどん、世の中の進歩が加速していくでしょうが、それらをどういう方向に作っていくのかを決めて、実際に動かしていくのは若い世代の皆さんだと思います。ぜひ自分自身で道を切り開くという気持ちを持って、未来を作っていくしてほしいです。



プロフィール 山崎 直子さん(宇宙飛行士)

千葉県松戸市生まれ。1999年国際宇宙ステーション（ISS）の宇宙飛行士候補者に選ばれ、2001年認定。2004年ソユーズ宇宙船運航技術者、2006年スペースシャトル搭乗運用技術者の資格を取得。2010年4月スペースシャトル・ディスカバリー号で宇宙へ。ISS組立補給ミッションSTS-131に従事した。2011年8月JAXA退職。内閣府宇宙政策委員会委員、日本宇宙少年団（YAC）アドバイザー、松戸市民会館名誉館長、立命館大学および女子美術大学客員教授、ふたばの教育復興応援団、日本ロケット協会理事・「宙女」委員長などを務める。著書に「宇宙飛行士になる勉強法」（中央公論新社）、「夢をつなぐ」（角川書店）、「瑠璃色の星」（世界文化社）など。

入手方法

ふるさと納税のお礼に 市内在住の方も申し込みできます ペンシルロケットレプリカを贈ります

JAXA宇宙科学研究所共催・1,000機限定

■申込書での申し込み

①右の申込書（拡大コピー可）を切り取って記入し、ハガキに貼り付けるか封書に入れて郵送で〒185-8501財政課へ

②A4用紙に貼り付けてFAX(042)325-1380または直接財政課（市役所第3庁舎）へ

■インターネットからの申し込み

ふるさとチョイス <http://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/13214> から※右のQRコードからもアクセスできます

★寄附金額10万円（連続した2年で分割可）ごとに1機贈呈します。

★確定申告またはふるさと納税ワンストップ特例制度の申請（以下「確定申告等」）をすることで、寄附金控除を受けることができます（下表参照）。



	給与収入 (*1)	全額(*2)控除される ふるさと納税額(年間目安額)	寄附の 回数・金額	確定申告等の 回数	実質負担額
ケース1	700万円	11万8千円	1回10万円	1回	2千円
ケース2	450万円	5万8千円	2回5万円	2回	4千円

(*1) ふるさと納税を行う方の家族構成が、独身または共働き（子どもなしまたは中学生以下の子どもがいる）の場合
(*2) 2千円を除く

様式第1号の2（第4条関係）
国分寺市長 殿
国分寺市寄附金申込書（ペンシルロケットレプリカ用）
私は、国分寺市へ次のとおり寄附を申し込みます。

年 月 日
●1,000機限定
●寄附金10万円ごとに1機贈呈

氏名 (団体名及び 代表者名)	ふりがな
住所 (所在地)	〒 -
電話番号・FAX	(電話番号) (FAX)
寄附金額	円 希望機数 機 分割寄附 (※1) 1回目 2回目
寄附金の使途 (希望する ものに○)	①使途を指定しない(市長に委ねる) ⑦教育施設の整備 ②国分寺崖線、樹林地、地下水、湧水の保全等 ⑧公民館・図書館活動など社会教育の充実 ③公園の整備 ⑨歴史遺産の保存・活用 ④子育て施設や環境の整備 ⑩(仮称)国分寺市郷土博物館建設基金 ⑤高齢者の福祉サービス基盤整備 ⑪その他 ⑥障害者の福祉サービス基盤整備
市への応援 メッセージ	
市HPでの公表(※2)	氏名 承諾する・しない 金額 承諾する・しない メッセージ 承諾する・しない
お礼の品の送付先	□上記住所と同じ □上記住所と異なる→以下ご記入ください。
住所 (お礼の品の 送付先)	〒 -
名前	ふりがな 電話番号

寄附金控除に係る申告特例申請書(ふるさと納税ワンストップ特例制度)を希望する場合は右欄に☑をしてください。
個人情報は、寄附内容についての市からの問い合わせ、寄附金の納付書及び受領書、寄附金税額控除に係る申告特例申請書、ふるさと納税についての市からのお知らせ並びにお礼の品(希望された場合のみ)の送付のために使用します。上記目的以外に使用されることは一切ありません。

(※1) 分割寄附の注意点
分割寄附の回数は2回までとし、1回当たりの寄附金額は1万円単位とします。分割寄附の2回目は、分割寄附の1回目を行った日が属する年の翌年の12月中で市が指定する日までに行ってください。ペンシルロケットレプリカは、分割寄附の2回目を市が確認したらお送りします。分割寄附の2回目がお済みでない方のペンシルロケットレプリカについては、期限に達するまでは確保いたしますが、期限内に分割寄附の合計金額が10万円に満たない場合は、期限までの寄附金額に応じて他のお礼の品を受け取ることができます。期限間近になりましたら、改めて市より通知しますのでご確認ください。

(※2) 未選択の場合は、匿名希望とします。

私とペンシルロケット

市役所への申し込み・問い合わせの時間は、特記がない場合は月～金曜日午前8時30分～午後5時（正午～午後1時を除く）の受付となります。

→市政戦略室（内411）